

菜の花飯山サイクルロードレース大会が開催されました



残雪が映える黒岩山のもと、4月18日・19日に長峰の針湖池周りで、実行委員会（事務局スポーツ推進室）主催による菜の花飯山サイクルロードレースと全日本学生選手権大会飯山ラウンドが開催されました。飯山レースには、2日間でのべ41人の選手が参加しました。直線200mを走り抜ける競技には小学生が、また、池の周囲を3周するタイムトライアル競技には中学生以上が参加しました。中には親子での参加もありました。ただ、市内の参加者が3名とすくなく残念でした。

タイムトライアル競技2日間の総合成績では、昨年に続き、長和町の半田さんが見事優勝を飾りました。学生選手権ではプロの選手を含む、149人の選手が参加し、各クラスとも集団で疾風のように駆け抜ける、迫力のあるレースとなりました。70分間池の周囲を回り、ラップおよびゴール順位を競う種目もありました。この大会は、参加者が戸狩温泉に宿泊するため、観光振興にも一役買うものとなりました。この2日間におきまして、針湖池周りの道路の通行規制をかけ、ご迷惑をおかけしましたが、当日は混乱もなく、無事大会を終了することができました。皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。



飯山市スポーツ推進委員の紹介

平成27・28年度の飯山市スポーツ推進委員が決定しました。スポーツ推進委員とは、国のスポーツ振興法に基づき、市民の皆さんにスポーツの実技指導とスポーツに関する指導・助言を行い、地域スポーツの普及と推進を図ることを任務としています。委員は、各地区からの推薦と教育長推薦により決定し、市から委嘱される非常勤職員です。

- ◎竹内 亨（飯山地区）
- 大平剛志（秋津地区）
- 堀田 学（木島地区）
- ◎村越 実（瑞穂地区）
- 山室英貴（柳原富倉地区）
- 関 孝和（外様地区）
- 齋藤真彦（常盤地区）
- 小川直樹（太田地区）
- 渡邊一聖（岡山地区）
- 田中 淳（教育長推薦）
- 小嶋英治（教育長推薦）
- ◎会長◎副会長

市内公立保育園に乳幼児用備品を配置しました

平成27年4月から、保育の拡充の一環として市内公立保育園での受入れ年齢を引き下げました（満1歳児から）。これに伴い、各園に乳幼児用の備品を整備しました。今回購入した物品は、日除け付き避難車（写真参照）および乳幼児エリア区切り用のパーテーションです。

避難車は、緊急時の避難用に使用するほか、毎日のお散歩にも使用しております。今回は4園に配置しましたが、今後他の園にも配置していく予定です。

パーテーションは、1歳になったばかりの小さい子どもと2歳児を同じ部屋で保育する場合に、危険の無いように購入したものです。



平成27年度飯山市青少年健全育成団体等特別支援事業補助金交付団体等を募集します

市では、飯山市青少年健全育成団体等特別支援事業補助金で全国大会等での活躍を目指す団体や個人の活動を支援します。

【応募期間】

5月20日(水)から6月19日(金)

【補助金の交付対象】

(1) 団体および個人
次の全ての条件を満たす団体および個人（クラブ活動等は対象外）

- ① 青少年（高校生以下）の健全育成に係る自主的かつ営利を目的としない団体等で市内を活動基盤とするスポーツまたは文化活動を行う団体等
- ② 全国大会出場や県大会で上位の競技水準または活動水準を目指す団体等
- ③ 交付の条件（要全条件を満たす）
- ④ 育成事業にかかる計画および予算が策定されていること
- ⑤ 補助金の収入が当該団体等の主たる収入でないこと
- ⑥ 対象の活動について市の他の補助金を受けていないこと
- ⑦ 事業計画の内容に妥当性があり、団体等の継続的な活動が期待されるものまたは活動実績や事業内容の充実により、その後の活動に有効であることが期待されるもの

いきいき男女共同参画 ～講演会のお知らせ～ 「支え合う男女関係と新しい家族づくり」

講師：石川結貴さん（作家・ジャーナリスト）
日時：6月20日（土） 13:40～15:10
会場：飯山市公民館（入場無料・託児あり）



【講師プロフィール】
家族・教育問題、青少年のインターネット利用、児童虐待などをテーマに豊富な取材実績を持つ。希薄化した地域社会の中で孤立する子どもの実態を追った『ルポ 子どもの無縁社会』は大きな反響を呼んだ。短編小説集『小さな花が咲いた日』は、7年連続で中学・高校入試問題に採用されている。最新刊の『ルポ 居所不明児童～消えた子どもたち』では、児童虐待や貧困問題を抱えたまま放置される子どもの現状を報告した。出版以外にも新聞、雑誌への寄稿、「あさイチ」や「報道ステーション」など数多くのテレビ番組に出演。2013年には「第61回日本PTA全国研究大会」の講演者に選出された。2015年5月から全国各地紙にて『ネット世代の子どもたち』を連載。スマホやネットを駆使する子どもとの向き合い方について具体的に提言している。
当日は、多くの皆さまのご来場をお待ちしています。
※託児をご希望の方は6月12日（金）までに下記へお申し込みください。
お問い合わせ・託児申込み先 人権政策課 男女共同参画係 ☎62-3111（内線332）

箱根マリーゴールドを届けました

人権シリーズ

飯山市公民館長 田中 好一

三年生、たくさんのポットにマリーゴールドの種をまきました。違う花の種もまきました。種から芽が出ることを、芽が出て、花芽が出ることを、楽しみにしていたのでしよう、一生懸命に水やりをする子どもたちの姿が印象的です。



音楽会にマリーゴールドを飾ってくれました。さみしかったステイジわき、体育館の入口がにぎやかになりました。しばらくすると、前庭に花壇を作ってくれました。何もないところから花壇を作るというのはとてもたいへんなこと。校長室から見える子どもたちの姿、みんなで力を合わせて開墾する姿、頑張る姿、いいもんだなと思えました。休み時間や放課後、一人でスコップを持ち固い土と向き合う何人かの子どもたちの姿も印象的でした。花壇が完成しました。今まで何もなかったところに、自らの手で開墾自分たちで育ててきた花を植える、素敵なことですね。私もその場に参加をして、素敵な花壇ができて嬉しい気持ちを伝えました。素敵なことでしょうか。